



# 東北高等学校

松本 叶大 外野手

173 cm 69 kg 右投右打

50m走：6.2秒

遠投：95m

趣味：釣り、格闘技観戦

## 1 第98回選抜高校野球大会（甲子園）での感動と学び、心に残るエピソード

小さい頃から憧れていた舞台に立つことが出来てとても嬉しかった。観客の熱気や視線がすごく感じられた。他の高校と意外にコミュニケーションを取れる機会があって良かった。自分たちのやりたい野球が出来ずに悔しい思いをした。必ず戻りたい。

## 2 夏の甲子園予選に向けた熱い意気込みと、日々の練習にかける思い

チームの目標である、日本一に向けて常に負けないことを意識している。頼れるチームメイトと切磋琢磨して頑張る。

## 3 東北高校に進学を決めた理由、そしてその選択がもたらした成長

東北高校の「考える野球」に惹かれ、メジャーリーガーやプロ選手を輩出した強豪校へ進学を決めた。昨今は甲子園出場から遠のいていたので、自分が東北高校を甲子園に連れていくという強い意気込みを持っていた。

いろんな出身地から東北高校に集まっているため、チームメイトとのコミュニケーションを積極的にとることを意識しているので、コミュニケーション能力は成長したと感じる。

## 4 自身の個性や強み、そして市民の皆様に伝えたいPRポイント

1番バッターとしての出塁率、次の塁を狙う姿勢、長打力を見てほしい。結果を残して、市民の皆様に勇気と元気を与えられるようなプレーをしたい。



## 5 将来の夢や目標、そしてそれを実現するための具体的なステップ

まずは大学進学を目標としている。将来なりたい具体的な職業は決まっていないが、人に勇気を与えられるような人になりたい。

## 6 高校生活で得られたかけがえのない経験や成長、チームメイトとの絆



野球が出来るだけではダメだと気づき、勉強にも力を入れている。寮生活を始めて、親元を離れた寂しさを感じる日もあった。親にやってもらっていた「当たり前」は「当たり前」じゃないと気付かされた。自身の自立につながっている。チームメイトとの絆は勝つことの喜びを共有することで深まっていった。選抜大会への出場が決まった時も絆を感じた瞬間のひとつ。

## 7 スポーツ少年団在籍時の懐かしい思い出

小学校3年生から在籍していた。渡辺コーチのおかげで上級生の中に混じって試合に出る経験をさせてもらったのは嬉しかった。負け続けた日々もあったが、最終的に県ベスト4の成績を残せたのが嬉しかった。

## 8 田村市の未来を担う子どもたちへの温かいメッセージ

私はスポーツ少年団に在籍したことで勝つことの大切さ、そこに至るまでの過程を大切にすることができている。あいさつや礼儀なども身についた。特に野球を頑張っている、始めようとしている子には、ぜひ甲子園をめざしてほしい。

## 9 その他、市民の皆様に伝えたいことがございましたら、ぜひご自由に記述ください。

地元の方に支えられている気持ちを今回のセンバツ大会を通してより強く感じた。元気あふれるプレーを皆さんに届けたい。

ケガが多い野球人生だった。ここまで野球を続けてこれたのは間違いなく両親のおかげ。センバツ大会に連れていくことは出来たが、夏も連れていく。